

登録コード	E4694900	開講年度	2026			
授業科目	英語科評価論				担当教員	青山 拓実
英文授業名	Teaching and Assessing/ Evaluation of English Language Ability				副担当	酒井 英樹
単位数	2	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				評価に関する諸概念（評価の種類、評価の方法、評価と測定、信頼性と妥当性、4技能の評価とその方法、観点別評価）について理解し、指導者としての教養を身に付けるようにする。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				本講義では、評価に関する諸概念（評価の種類、評価の方法、評価と測定、信頼性と妥当性、4技能の評価とその方法、観点別評価）に関する知識を活用して、単元計画を構築できるようにする。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	本講義では、評価に関する諸概念（評価の種類、評価の方法、評価と測定、信頼性と妥当性、4技能の評価とその方法、観点別評価）のトピックを取り上げて、解説する。その上で、単元計画の構築の演習を行う。					
(5)授業計画	第1回：ガイダンス，評価に関する概念 第2回：評価の種類（役割、活用、テストの性質） 第3回：評価の方法（評価資料の種類、英語テストの種類と性質） 第4回：評価と測定，信頼性と妥当性，ICTを活用した測定と評価 第5回：4技能の評価とその方法（読むこと） 第6回：4技能の評価とその方法（聞くこと） 第7回：4技能の評価とその方法（書くこと） 第8回：4技能の評価とその方法（話すこと〔やり取り〕と〔発表〕） 第9回：観点別評価の考え方と手順 第10回：外国語科の目標と評価の観点，外国語科の観点別評価の実際 第11回：「聞くこと」の評価規準と判定基準 第12回：「書くこと」の評価規準と判定基準 第13回：単元計画の構築 第14回：単元計画の発表 定期試験・授業評価アンケートの実施 教育実習による欠席については、授業動画の視聴・課題の提出によって個別に対応する。 【重要】2026年度は非常勤講師による集中講義です。（土曜日、日曜日に授業が行われます）					
(6)成績評価の方法	・ 諸概念を理解しているかを評価する試験（20％）、テスト作成に関するレポート（40％）、単元計画の構築とそれに基づいたレポート（40％） ・ 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀，89-80％ 優，79-70％ 良，69-60％ 可，59％以下 不可。					
(7)成績評価の基準	「卓越している」：基本的な概念や理論を正確に説明でき、単元計画を適切に構築している。 「かなり上である」：基本的な概念や理論をほぼ正確に説明でき、単元計画を適切に構築している。 「やや上にある」：基本的な概念や理論を説明できるものがあり、単元計画を構築している。 「水準にある」：基本的な概念や理論を説明できるものがあり、単元計画を構築している。					
(8)事前事後学習の内容	・ この授業は 90 時間の学修を必要とする内容です。従って、60 時間以上の時間外学習が必要となります。 ・ プレゼンテーションの準備を行うこと。 ・ 教科書の指定された箇所を事前に読んでおくこと。					
(9)履修上の注意	・ 英語教育コース以外で英語科指導法基礎、英語科授業学を履修していない場合は、初回授業の際に相談すること。 ・ 本講義は、英語で行うこともある。 ・ 教育実習等による欠席については、オンデマンド型教材ならびに個別の指導によって対応します。					
(10)質問、相談への対応及び連絡先	・ 随時、相談、質問を受け付ける。 ・ オフィスアワーについては、初回授業で案内する。 ・ 非常勤講師のため、初回に連絡先を提示する。					
【教科書】	・ 酒井英樹・廣森友人・吉田達弘編著（2018）.『「学ぶ・教える・考える」ための実践的英語科教育法』大修館書店（第9章～第12章） ・ 文部科学省（2017）.『中学校学習指導要領』『中学校学習指導要領解説・外国語編』 ・ 文部科学省（2018）.『高等学校学習指導要領』『高等学校学習指導要領解説・外国語編』 ・ 国立教育政策研究所教育課程研究センター『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（中学校外国語編）』					

【参考文献】	・ 随時授業中紹介する。
--------	--------------